

# owe

2007年秋季号(通巻71号)

発行:財団法人 豊川市国際交流協会

編集:ニューズレター部会

〒442-0878 豊川市新道町1丁目1-3 勤労福祉会館内

☎0533-83-1571 FAX0533-83-1581

(年4回 5・8・11・2月発行)

ホームページアドレス <http://www.yui.or.jp/tia/>

メールアドレス [tia@yui.or.jp](mailto:tia@yui.or.jp)

## 部会・サークルは今!

フレンドシップ部会の巻

### 【活動の経緯】

1978年(昭和53年)12月、姉妹都市提携が契機となって市民の間で国際化の機運が高まり、1987年(昭和62年)6月、国際交流協会が任意団体として発足した。

フレンドシップ部会は、ホームステイ、ラングウェッジ、ニューズレターの各部会とともに設立され、交流会を中心に外国人や会員相互の交流に関する事業の企画・運営に携わってきた。歴史的に古い部会であり、責任ある活動を実施してきた。

全盛期は平成5年度から10年間で、会員数45人、実働人員35人を持続し、青年招へい事業ウエルカムパーティ、お月見の会、有名人の国際文化講演会、日帰りバス旅行、新春交流会などを行い、協会のボランティア活動の推進役を担ってきた。

### 【転機を迎えた各種事業】

近年、部会員が減少し、しかも活動の推進者に通勤者が多く、時間外勤務や帰宅時間の関係で、月例会に確実に出席できるとは限らず、部会活動に影響が出ている。

一方、イベント面においても、好評のオイスカ研修生との交流会でさえ会員の参加が減り、人集めに苦労している現状である。また、日本の伝統文化を外国人に知ってもらおうと季節に合った交流会を企画し呼び掛けているが、参加してくれる

外国人は少ない。南米の人は日本の産業を支えるため働きに来ているので、会費を支払ってまで交流会に参加する人はごくわずかではないかという考えもある。共生、協働という言葉のように、日本で生活していくのに必要なこと(例えば日本語の習得、教育や医療など各種制度の認識)と交流会をどのように両立させていったらよいか、悩み多い昨今である。皆さんのお知恵をお借りしたいと思っている。(文責、尾崎)

### 【現在のメンバー】

24人。実働14人

### 【今期の役員】

部会長・星川典男  
副部会長・鈴木良一  
会計・宮本多津子

### 【設立】

協会発足と同時



今年5月に開催したオイスカ研修生との交流会



## 第3回 中学生体験ツアー in マレーシア2007

今年は8月16日から24日にかけて中学生3人と高校生2人とスタッフ、総勢10人の参加で実施しました。参加した学生は、言葉がなかなか思うように通じないもどかしさを感じながらも、忘れられないさまざまな体験をしてきました。丸山団長に報告をお願いしました。

### 使節団長 丸山 正克

中学生体験プログラム・イン・マレーシアは今年で3年目を迎えました。プログラムは2年間ムアザム・シャーで実施しましたが、今回は、トレンガヌ州東海岸に面したクアラ・トレンガヌ市で実施しました。クアラ・ルンプール、クアンタンに続く都市で漁業と農業が盛んです。また、敬けんなイスラム教信者の多いところで知られています。

今回は、応募者が少なく付き添いを含めて10人でしたが、それが幸いし、今までにない深い交流と体験ができました。



ウエルカムパーティで  
豊川市を紹介

しかし、その一方で「慣れ」が原因でしょうか、パマジャ内部の連絡の不手際が生じ、訪問先のコーディネーターが大変苦労しました。けれども、私たちの要求の実現に向けて、非常に努力して頂いたことには頭が下がりました。今回の経験から、改めて、このプログラムの目的や意義について検討し、パマジャとの意思疎通を図る必要性を感じました。

メイン活動の学校訪問がキャンセルになり、代わりに訪れた補習学校で英語の授業を英語で受け、おまけにテストを受けたことは貴重な体験だったようです。

しかし、その一方で「慣れ」が原因でしょうか、パマジャ内部の連絡の不手際が生じ、訪問先のコーディネーターが大変苦労しました。けれども、私たちの要求の実現に向けて、非常に努力して頂いたことには頭が下



文化交流でオリヅルを披露



子どもたちは一人でホームステイをしました。紹介された名簿は、マレー語で書かれ意味不明、名前の下に書いているのは住所だと思っていましたがすべて肩書きだったのです。話を聞くとかなり裕福な家庭らしく、運転手付き、子どもが医学生でロシアに留学している、お父さんが会社の社長だとか、もちろん、ファミリーはみんな英語べらべらなんです。そんな環境にもめげず(?) 子どもたちは果敢に家族とのコミュニケーションに挑戦したようです。ホスト先の子どもたちに案内されて州立博物館で半日過ごす機会がありました。子どもたちは言葉の壁に悩まされながらも質の高い交流を体験しました。また、料理を作ったり、辞書を片手に思いを語りながら、家族の温かい心・人を思いやる心・人を愛する心を感じてきました。

さて、大人ですが、漁村のごく普通の家庭にステイしました。ここでは英語がほとんど通じません。少ない言葉とたくさんのジェスチャーが必要でした。本当に素朴で伝統的な生活を満喫(?)してきました。人を愛する心、相手を思いやる気持ちは、どこにいても感じます。日本で失われてしまった人間関係の豊かさを実感してきました。

この体験で、子どもたちが「人を思いやる心」と「人と笑顔で話し合う」ことの大切さをしっかり学んできたことは、何よりの成果であったと確信しています。



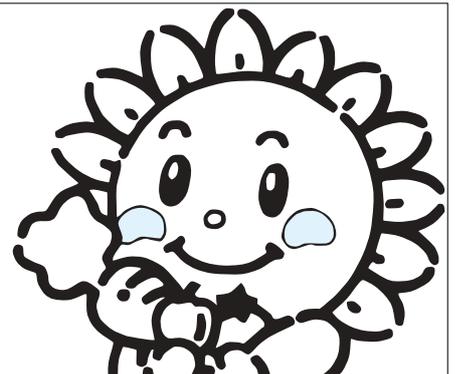
国会議事堂を背にして

## あなたの身近に 「ベスト」なひまわり

ひと・夢・いいね。

 **JAひまわり** 豊川市諏訪1丁目1番地 TEL 85-3171  
代表理事組合長 柴田 勝

グリーンセンター豊川 TEL 85-8318 産直ひろば中部 (Aコープ中部店内) TEL 89-1201  
グリーンセンター一宮 TEL 93-6111 産直ひろば一宮 (Aコープ一宮店内) TEL 93-2975  
グリーンセンター音羽 TEL 88-6600 産直ひろば小坂井 (Aコープ小坂井店内) TEL 78-3381



ボランティア研修

# (財)オイスカ中部日本研修センター訪問

●カメラレポート

平成19年9月29日(土)、豊田市にある(財)オイスカ中部日本研修センターを訪問し、オイスカについての知識を広め、今年5月に来豊した16人の研修生と再会、交流を図りました。参加者は部会・サークルの会員16人でした。

小雨降る中、矢作川の名勝「勘八峡」から山道に入り、白亜の研修センターに到着しました。

小杉辰雄所長の歓迎のあいさつの後、森田惣一郎長から1時間30分にわたりオイスカの事業全般の説明を受けました。

昼食は、研修生と一緒に日本語で「いただきます」「ごちそうさまでした」と手を合わせ、手作りのカレーライスと生野菜サラダをいただきました。食後、2階の研修生の部屋を見学し、談話室で研修生とくつろぎました。午後は、実習室で、インドネシア、スリランカ、バングラデシュ、フィリピン、マレーシア、ミャンマー、パプアニューギニアの国別に分かれ、私たちも分散して、お国の話や将来の夢などを聞いたりして、親睦を図りました。流ちょうな日本語には驚きました。日本文化紹介サークルが精魂込めて



事業説明をする森田部長



楽しい昼食会

車座になって座談会



車座になって座談会



記念品を手にする研修生

作った記念品を一人ひとりに手渡し、喜ばれました。

最後に、童謡「夕焼け小焼け」を全員で歌い、後ろ髪を引かれる思いで帰途に就きました。

来年度からアフリカ諸国が加わるという話もあり、オイスカとの交流は今後も継続していきたいと思います。

なお、このボランティア研修は、ワールドウォッチングサークルの企画・運営によるものでした。



「夕焼け小焼け」を歌う



お別れの握手

ニュースレター部会では、次の3人の研修生を取材し、趣味好きな食べ物 自国で作っている野菜 豊川の街の印象...以上4つの質問に答えていただきました。



リファさん(インドネシア・男性)

スポーツ、特にサッカー  
すし、天ぷら、日本食はすべて好き  
なす、きゅうり、トマト  
ひまわり農協の充実した施設が印象的



ディーパさん(スリランカ・女性)

音楽、バードウォッチング  
天ぷら、カレーライス  
大根、キャベツ、すべて露地栽培  
車が多い



パイルさん(マレーシア・男性)

サッカー、ダンス  
みそ汁、日本食に挑戦中  
キャベツ  
住宅地が整っていてきれい



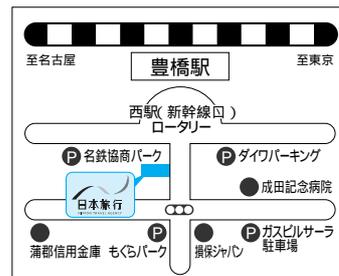
NIPPON TRAVEL AGENCY

国土交通大臣登録旅行業 第2号/JATA(株)日本旅行業協会正会員  
ボンド保証会員/旅行業公正取引協議会会員



【豊橋支店】  
〒441-8013 豊橋市花田町一番地180  
TEL 0532-33-7910 FAX 0532-33-7929

受付時間/平日 10:00~18:00  
定休日/土曜・日曜・祝日



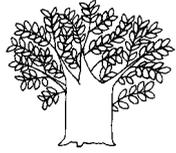
駐車場案内/まちなかパーキング(共通駐車場券)  
ご旅行お申込み・お買上げのお客様に限らせていただきます。  
市JR券、航空券、バス等の交通券のみのお買上げは除かせて頂きます。

# キッズワールドサマースクール

今年もキッズワールドサークルの企画で9月1日(土)に新城市やまびこの丘へ行きました。夏休み最後の日?だからいつもより参加者が少なかったようです。小学生28人、外国の方とスタッフで総勢51人でした。お天気を心配しながらも、楽しい一日を過ごしました。小学生、外国の方、スタッフに感想をお願いしました。

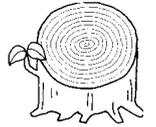


## 鈴木 康介 (三蔵子小学校4年)



9月1日に、国際交流のにじます取りに行きました。ぼくは1匹も取れなかったけど、バケツから1匹落ちて、ぼくが取りました。うれしかったです。家で食べるにじますもおいしいけど、自分たちで取ったにじますは、もっとおいしかったです。来年は英語を覚えて色々な国の方たちと遊びたいです。色々な人と遊んだりして楽しかったです。

## 近藤 正一 (八幡町)



今回、わたしはチームリーダーとして参加しました。チームリーダーの役目は、参加する小学生たちが、安全に「やまびこの丘」で外国人と楽しく交流ができるように支援することです。

行きのバスの中では、私たちのグループに所属したフィジー出身のバブさんがたいへん陽気な方で、歌を歌ってくれ、快調な出足でした。

現地では、子どもたちは川の中で夢中になってつかみ取りした虹マスを昼食時に食べました。その後、全員で外国人との意見交換を行いました。少し静かだったので、グループでの意見交換は、子どもたちに質問の手助けをし、外国人との会話の思い出を残すようにしました。その後、一人も欠けることなく全員がゲーム、歌、ダンスなどに楽しんでいました。

帰りのバスが、市役所に着くと、子どもたちは待っている家族に歩み寄り、今日の出来事を楽しそうに話している姿を見ると、私もうれしさがさらに増しました。



水鉄砲を使ってるゲーム。  
的が外れて人に水が...



外国の方の自己紹介とお話



伝承館で係りの方に鳳来地方の生物や昔の生活のようすなどのお話を聞く



虹マスのつかみ取り。5匹はみんなで見ても行方不明...  
お昼に焼いてもらって食べる

## 周 玄全 (中国)



日本の子どもとのコミュニケーションは初体験でした。本当に楽しかったです!文化と生活習慣が違いますからこのような交流はとても大事だと思います。今回、日本のことがもっとよくわかりました。これからの日本での生活や仕事にもよく役に立ちそうです。これからは外国の方とキッズや日本語の先生との交流をもっと深まるように活動を展開していただきたいと思います。

## 行政書士小柳津えみ事務所

DESPACHANTE CREDENCIADA

入管手続・帰化申請・内容証明  
遺言書・相続手続・各種許認可申請

豊川市御油町栗木山152番地  
TEL 0533-80-1801  
FAX 0533-80-1802  
E-mail emi@fb3.so-net.ne.jp

プラス・ワンからはじまる可能性。

共和印刷株式会社

本社●〒441-8042 豊橋市小池町36番地の1  
tel.0532・46・3281 fax.0532・46・3285

# こんな行事がありました

## ◎文化講演会「チェコってどんな国」

「チェコってどんな国」を去る9月15日、勤労福祉会館視聴覚室で開催しました。今回の参加者は51人。講師は名古屋に在住の林シャルカさん。いつもながら講師の流ちょうな日本語に驚かされますが、シャルカさんの日本語も確かなもので、一同うっとり。前半の約1時間はスライドによるチェコの紹介で、後半は質問に答えていただきました。今回、聴講者の中に訪問経験のある人が多く、細かい事への質問に、シャルカさんもたじたじの場面もありました。

お話のダイジェストを少々。正式国名は「チェコ共和国」。1993年、チェコスロバキアと言う連邦国家を平和的に解消して独立しました。14州あり、人口は約1,000万人で、日本の約12分の1です。首都プラハの町



講師の林シャルカさん

は100万人で全人口の10分の1です。通貨は「コルナ」。EU加盟国でありながら、特例で2012年まで使用可能です。伝統的に手先が器用で木工製品、特にオモチャは有名です。国内に温泉が35カ所もあり、温泉療法も盛んです。ヨーロッパの例に漏れず、水はビールよりも高価です。平地が多いので洪水はとても心配です。音楽、絵画、舞踊、多くの教会、100以上の城など誇る物はたくさんあります。

ブレイクタイムにはチェコのお菓子と飲み物を提供しました。展示物も、名所の写真から、マリオネット人形、本、オモチャなど多彩でした。

最後に、紹介された簡単なチェコ語を！“ハイ”は「アノ」、「ええ」は「ヨー」、「いいえ」は「ネ」、「こんにちは」は「ドブリーデン」、「ありがとう」は「チェクイ」だそうです。これを機会に覚えましょう。

## ◎お月見交流会

恒例のお月見交流会を、去る9月23日秋分の日に、勤労福祉会館視聴覚室で午後6時から開催しました。今回、会場がいつもと違うのは、外国人に参加しやすい場所と考



苦心の作“月の投影”。  
琴の音が一段と心に浸み込みました

た。参加者は外国人15人（ブラジル、ペルー、フィリピン、中国、カンボジア）を含む35人

でした。外国人が比較的多く参加してもらえ、狙いはまずまずでした。出し物のメインは箏曲の演奏で、山口佐代子さんと尾島紀子さんの協力をいただきました。

演出には知恵を絞りムードは満点？電灯を消した会場で、プロジェクターでスクリーンに満月を投影し、琴の周辺をあんどんの明かりで照らしました。少しは幽玄の境地を味わえたのかな。

お月見の話は日本語の他、ポルトガル語、スペイン語に翻訳した資料を配付して説明しました。また、月、星、太陽を用いた国旗をクイズ形式で出題し楽しみました。



持ち寄った料理に舌鼓を打つ参加者

これも恒例ですが、懇親会は料理の一品持ち寄りで行い、飲み物を添えました。最後はビンゴゲームで盛り上がり、記念撮影の後、8時10分に終了しました。月に供えただんご、里芋、花などは全員で分けて持ち帰りました。はて、写真で会場の雰囲気はどこまでお伝えできるやら...？

NECパソコン専門店  
文具・事務用品・紙製品  
スチール家具・OA機器



有限会社 **するが屋**

豊川市光明町2-7 豊川市民病院北

☎(0533)86-2509 FAX(0533)86-2299

# 村松書店

〒442-0041 豊川市旭町6番地

TEL (0533) 86-3810

FAX (0533) 86-2682

E-mail add.

mbooks@amitaj.or.jp

# ボホール島市民使節団の訪問について

協会では10月27日にフィリピンへ市民を中心とした使節団を派遣しました。本誌が発行される11月1日には既に帰国していますが、今回の使節団の意義や目的について市役所国際課課長に手記を寄せていただきました。

豊川市役所国際課 課長 渥美 昌之

今回は、協会が豊川市と連携して実施したボホール島市民使節団についてお話しします。ボホール島は、フィリピン共和国の南東部にある島で、セブ島ほど開発されていませんが、島全体がボホール州であり、自然が豊富で海がきれいで、スキューバダイビングに訪れる人の多いリゾート地として有名なところ。なぜ、フィリピンに使節団を派遣するの？なぜ、ボホール島（州）なの？と疑問に思われる方もおみえかと思えます。フィリピン共和国は2005年に開催された愛知万博のフレンドシップ相手



ボホール島の中央部にある  
不思議なチョコレートヒル

国の一つで、本市がホストシティとなりました。そして、当時9月に行なわれたフィリピン共和国のナショナルデーには、桜木小学校や豊小学校の児童や交流協会の皆さん約500名がアリーナ席に座り、赤・青・白のTシャツを着て、フィリピン国旗を表わし、会場内を大いに盛り上げたことは記憶に新しいことと思えます。

また去年は、日比友好交流50周年を記念して来日したフィリピン子ども民族舞踊団を、市と協会が協力して本市へ招へいし、おいでん祭への参加や文化会館でおどりを披露しました。これらを通してフィリピン文化の理解に努め、ホームステイなどで友好交流をさらに深めたことも、皆さんよくご存知のことと思えます。

それでは、なぜボホールなのかということですが、こ

れはフィリピン政府および観光省の紹介によるもので、ボホール州の州都であるタグビララン市を、万博後フィリピン共和国側から交流の相手先として提案・推薦され、それを受け昨年10月に市長が調査のために訪問した、というのが経緯です。

次に使節団の目的についてですが、昨年の調査訪問の際に、実際に現地へ行ってみて、ボホール島（州）が自然の豊富な第1級の観光地であり、最も現地の期待の大きかったのが、観光を目的として大勢の市民の方に訪問してほしいということでした。その意味で、市民レベルによる顔の見える交流を中心に進めていってはどうかということになり、今回豊川市がフィリピン観光省との調整役として参加する中で、交流協会にて参加者を募集し、ボホール島を中心としたフィリピン共和国訪問使節団を組織することになったわけです。



多くの観光客で賑わう  
ロボック川の川下り

使節団の皆様には、万博のフレンドシップのホストシティからの使節団として、ボホール島やタグビララン市を訪問する中で、万博開催時に築いた豊川とフィ

リピンの相互理解と友好交流の理念を継承し、タグビララン市のリム市長や市民の皆さん、現地の子どもたちとの交流を行なうことでさらに友好関係を深めていただけたことと思えます。なお、タグビララン市とのこれからのについては、使節団の皆さんが訪問されてどのように感じられたかなど伺う中で検討することになると思えますが、今後も市民レベルの交流を中心に友好関係を深めていけたらと考えております。

フィリピン



ボホール島



良質生活アピタ  
アピタ豊川店

豊川市開発ビル株式会社  
豊川市諏訪3丁目133番地  
TEL(0533)89・3000



# ブラジルの医療事情

## ブラジル滞在記 No.3

御油町 小柳津 えみ

私は昨年4月に左ひざを骨折し、ブラジルへ行った時は中に入っていた金属を抜く手術を受けてまだ1か月ほどしか経っていない頃でした。「何もこんな時に無理に行かなくても」と驚く人たちもいましたが、こんな時だからこそ仕事もできないしむしろチャンス、向こうでのんびりして文字通り骨休めをしてこようと考えて行ってきました。

滞在中4つの家庭にお世話になりましたが、どこの家の方も私の足のことをとても心配してくださいました。マッサージをしてくれたり、ブラジルの薬は良いからと街の薬局へ連れて行ってってくれたりしました。地方の小さな街では薬局が町医者役目を果たしています。本来ブラジルでは薬は医師の処方せんがなければ買えないはずですが、実際は薬局の方が症状を見たり聞いたりして適当な薬を選んで売っています。もし薬局の方が自分の手に負えないと判断した時には病院へ行くようにアドバイスをしてくれます。私にも足の腫れを抑えるための飲み薬と塗り薬を勧められました。

さらに4家庭のみなさんの提案で、ブラジルの病院で診察を受けてみることになりました。ブラジルと言えばサッカー王国ですが、そのお国柄かひざ専門の整形外科というものがあるのです。私が行ったのはクリチーバ市にあるひざと肩専門の整形外科病院で、待合室にはけがから復帰したサッカー選手の写真がサイン付きでたくさん飾ってありました。建物は日本の病院のイメージと違い普通の一軒家のような感じです。そして診察室に入ってびっくり。高級そうな木製の机に本棚、パソコン、そして家族の写真が飾ってあります。横に診察用の小さなベッドがあることを除いては、ここは弁護士事務所か社長室かと思うような所でした。さらに驚い

たのが、通常こういった病院（診療所）で行うのは診察のみで、レントゲン等の検査は主治医の指示に基づいて別の専門機関で専門の医師がやるのです。もし手術が必要であればそれは設備の整った別の場所で主治医が行うそうです。結局その日は簡単な問診程度で、くわしくは検査の結果を見てからということになりました。

専門の検査機関は日本の病院に似た造りで、最新の医療器具が多数備えてあります。大きく違うのはそこが24時間開いていることです。そうしないとすべての検査をこなし切れないということでしょうか。結果は頼めば自宅まで配達してくれます。そしてレントゲン写真等と専門医の診断書は主治医に見せるのみで、保管は患者自身がします。そのためもし同じ病気やけがで他の病院へかかりたい時には自分で写真を持って行くことができるのです。

ところでブラジルには「SUS = 統一保健医療システム」という無料の公立病院制度があり、全国民が基本的な医療サービスを無料で受けることが保証されていま

す。ただし公立病院は設備が不十分で高度な治療は受けられないため、ある程度所得のある人々は民間企業による個人の医療保険を利用し、民間の病院で医療サービスを受けているようです。私が行ったのも民間の医療機関です。日本の国民健康保険に相当するような制度はブラジルにはありません。よく日本にいるブラジル人たちが健康保険に未加入であることが問題になりますが、このような制度の違いが原因の1つになっているように思いました。保健医療制度の違いを十分に説明し、健康保険への加入の重要性を理解してもらう必要があるのではないのでしょうか。



検査機関の診断書。24時間対応の文字が

国内旅行・海外旅行 \*\* 個人旅行・団体旅行



豊川市内に2店舗

本社営業所(本野バス停前) ☎84-7115

国府駅営業所(名鉄国府駅内) ☎82-2788

ホームページを開設しました。  
URL ● <http://www.toratou.com>

趣味の民芸・土産・造花フラワー店



(株)林電工



恋のれん結び堂

造花フラワー師範 林 叔子

〒442-0027 豊川市桜木通5丁目1番地 ☎(0533)85-9977

## ペルー大地震の被災地へ 義援金を送りました

ペルーは8月15日にマグニチュード8.0の大地震に見舞われました。公式の発表によると、地震によるこれまでの死亡者数は503人にのぼっています。最大の被害に見舞われたピスコでは街の70%が破壊されました。教会が倒壊し礼拝中の信者160人が死亡、またピスコだけでも行方不明者が150人ほどを数え、死亡者数はさらに膨らむと見られています。

この地震被災に対して、豊川市が一昨年開催された愛・地球博（愛知万博）のフレンドシップ相手国であったことから、豊川市職員と豊川市 **パルマ大使に義援金を手渡す早川事務局長** 国際交流協会会員から義援金を募集し、合わせて40万円（豊川市338,200円、豊川市国際協会61,800円）が寄せられました。協会の早川善夫事務局長と職員のプロアニョ・オマルさんが10月2日（火）東京のペルー大使館を訪問し、この義援金をウゴ・パルマ大使へ手渡しました。大使からは「心温まる義援金。有効に使わせてもらいます。」との感謝の言葉をいただきました。



### 豆知識コーナー

先回各語学サークルからひとこと会話を教えてもらいましたが、その見出しについて、「ハングル語」とは言わないのではないかとのご指摘をいただきました。調べてみたところ、「ハングル」とは文字体系の名前であって言語の名称ではないため「ハングル語」という表現はしないとのことでした。日本語を「ひらがな語」と呼ぶのと同じことになってしまうわけです。ご意見ありがとうございました。

## INFORMATION

### 外国語講座受講者募集

Free discussion 定員25人

期間 平成20年1月9日～3月26日 毎週水曜日

時間 午後1時30分～3時

やさしいディスカッション 定員25人

期間 平成20年1月10日～3月27日 毎週木曜日

時間 午後7時30分～9時

日常スペイン語会話 定員20人

期間 平成20年1月11日～3月28日 毎週金曜日

時間 午後7時30分～9時

場所 勤労福祉会館

受講料（テキスト代込み）

会員5,000円 一般9,000円

申込み 12月17日（月）までに電話で協会事務局へ。

定員を超えた場合は抽選です。

### ワールドフェスティバル2007

年末恒例となったワールドフェスティバルを今年も開催します。世界各国の歌と踊りを楽しみながら年末のひとときをみんなで過ごしませんか。

日時 12月9日（日）午後1時～4時

場所 勤労福祉会館大研修ホール

参加費 大人（高校生以上）500円

子供（小・中学生）300円 小学生未満 無料

申込み 11月30日（金）までに電話で協会事務局へ。

### 平成19年度マレーシアジュニア フレンドシップ事業

マレーシアの中学生30名が来豊し、市内の学校訪問やホームステイを通じて市民との交流を図ります。

期間 11月22日（木）～26日（月）

プログラムの内容に興味をお持ちの方は事務局までお問い合わせください。

豊かなくらしのお手伝い



# 豊川信用金庫

本店 豊川市末広通3丁目34番地の1 ☎(0533)89-1151(代)